# 会　議　録

| | | | |
|---|---|---|---|
| 会　議　名 | | 令和7年度第1回　3市ごみ減量推進市民会議 | |
| 事　務　局<br>（担　当　課） | | 日野市ごみゼロ推進課、国分寺市ごみ減量推進課<br>小金井市ごみ対策課 | |
| 開 催 日 時 | | 令和7年11月6日(木)午前 10 時00分～11 時 15 分 | |
| 開 催 場 所 | | 日野市クリーンセンター　プラスチック類資源化施設 | |
| 出席者 | 委　　員 | ＜出席者:13名＞<br>(学識)宮脇委員長<br>(日野市委員)加納委員・新井委員<br>(国分寺市委員)鴇田委員・佐藤委員・永本委員<br>(小金井市委員)光明委員・清家委員・林委員<br>(行政)小澤委員(日)・栗原委員(国)・今井委員(小)・岡本委員(浅) | |
| | 事　務　局 | 日野市:志村係長・河本<br>国分寺市:増田係長<br>小金井市:立崎係長・竹内係長 | |
| 欠席者 | | (日野市委員)高松委員・伊藤委員<br>(国分寺市委員)森田委員<br>(小金井市委員)石原委員 | |
| 傍聴者の可否 | | 可 | 傍 聴 者 数　　０人 |
| 会 議 次 第 | | 1　小委員会からの報告<br>ア　情報発信・環境学習グループ<br>イ　減量グループ<br>2　その他<br>3　閉会 | |
| 会 議 結 果 | | 別紙審議経過のとおり | |
| 提 出 資 料 | | 別添のとおり | |
| そ　の　他 | | | |

| | |
|---|---|
| 宮脇委員長 | それでは、ただいまより会議を開催したいと思います。<br>会議を始める前に、傍聴の有無について事務局よりお願いします。 |
| 事務局 | 本日は、まだ傍聴者はお越しになっておりません。 |
| 宮脇委員長 | 本日は、まだ傍聴者がお越しになっておりませんが、この後傍聴希望者が来られた場合は、傍聴席にお入りいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。 |
| 委員一同 | 異議なし |
| 宮脇委員長 | それでは、お手元の次第に沿って進めてまいります。<br>最初に「小委員会からの報告」として情報発信・環境学習グループリーダーよりお願いします。 |
| A 委員 | 情報発信・環境学習グループの活動内容について報告します。今年2月に開催された全体会では、活動テーマを「生ごみ削減（家庭の台所でできること、買い物時にできること）」に決定したと報告しました。令和 7 年度は4月、6月、7月、10月、合計 4 回の会議を開催し、サブテーマを以下の4つに選定しました。<br>①なぜ生ごみ削減が必要なのか<br>②台所でできること<br>③買い物でできること<br>④まとめ<br>こちらの項目について肉付けをすべく現在議論を重ねております。<br><br>上記内容を年度内にチラシを作る予算は取られていないことより、A3サイズ・両面刷り・2つ折りのチラシをイメージしたデジタルデータを作成することで進めております。来年度の予算次第で、チラシを作って配布する、若しくはデジタルデータとして公開するのどちらにも対応できるように進めています。 |
| 宮脇委員長 | ありがとうございました。<br>それでは、今の報告で、質問等があればお願いします。 |
| 宮脇委員長 | 私から少し確認させていただきます。作成予定の冊子は、文字で埋めるイメージでしょうか？ |
| A 委員 | イラストや写真等を利用し、見やすい形を検討しております。 |
| 宮脇委員長 | ありがとうございます。目で見て直感で分かるような仕立てで作成できれば良いかと思います。また、その他のページ構成についても、必要なキーワードが見受けられますので、このまま進めていただければと思います。 |
| A 委員 | 先ほどの報告で一部忘失した事項がありましたので、補足させていただきます。議論の中で、「浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設について、残り 25 年の稼働期間」であることも、どこかに記載したいと考えております。 |
| B 委員 | 今お話があったように、生ごみ削減を市民に訴えるためにはどのような項目を挙げれば良いか AI にかけてみたところ、瞬時にまとまった資料が出来上が |

| | |
|---|---|
| | りました。我々が議論してきた内容も網羅されていたのですが、あまりにも文字が多いので、これをイラスト等も入れた中でどのように見やすくシンプルにするかが課題で、そこを詰め切れないまま本日の全体会を迎えているような状態であります。<br>そのような議論をしている中で、浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設に搬入される可燃ごみの内、生ごみが占める割合が9．4％と低く、クレーンで均一化を図っていることより可燃ごみ処理施設における生ごみ削減のメリットは、あまり見受けられないということが判明したのですが、これは本当なのか浅川清流環境組合に確認させてください。 |
| 岡本行政委員(浅) | ご質問いただいた件についてですが、「生ごみを減らす」イコール「ごみの量が減少する」ことについては大変重要なことであると認識しております。3 市ともにこれまでかなりの努力を重ねられ、ごみ減量に努めていただいておりますので、さらなるごみの減量という点では大変素晴らしいことと思っております。ただし、生ごみが減少することで浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設におけるメリットはと問われた場合、施設の運営委託業者にも確認いたしましたが、ごみを処理する施設としては、これと言えるメリットは見受けられないということでございます。 |
| C 委員 | ごみを減らすことによって、例えば収集車の稼働率も減少し、そのことで燃料費も節約され、それが $CO_2$ の減少や近隣住民の騒音防止などにもつながるといったような総合的なことが、なかなか市民の皆様には伝わっていないのではと感じております。よって、ごみを減らすことによって市民の皆様にも間接的に好影響があるんだということを示していければと思っております。<br>また、どうやって PR していくか、どのようなツールを使って広報するかなどもなかなか結論が出ず、2つの小委員会が合わさって実施するのが良いのかという思いは持っております。 |
| D 委員 | 我々、情報発信・環境学習グループでこれまで様々な議論を重ねて参りましたが、メインの内容は「食品ロス対策」であると思っております。<br>様々な媒体等で、対策方法・手段は言い尽くされている感はございますが、愚直に発信していくことが必要だろうと思っております。ただ、その中でもプラスアルファの部分をどの程度盛り込んでいくかを考えていかなければならないなと思っております。<br>食品廃棄物全般に対する知識や知見について、まだまだ議論が深まっていないと感じております。例えば、不可食部分の物量や比率等を数値として示していく必要があると思っております。<br>また、成果を見える化することが大事だと思っておりまして、そのためには定性的な示し方だけではなく定量的な示し方も必要だと思います。<br>例えば、水切りをしたとしてもどの程度水分が減少するのかなどを数値で示すべきと思います。数値が全く出ないとあまりにも定性的過ぎないかと思います。 |
| 宮脇委員長 | それでは、次の報告に移りたいと思います。<br>減量グループリーダーよりお願いします。 |
| E 委員 | 減量グループの活動内容について、令和 7 年度は4月、6月、7月、10月と合計 4 回の会議を開催し、冷蔵庫内チェックシート作成に向けて、議論を重ねて |

| | |
|---|---|
| | おります。<br>現在の作成イメージは、今スクリーンに映っているものになってます。<br>こちらの作成イメージの中で、一番右側 3 市のキャラクター配置箇所及び一番左の冷蔵庫イメージについて、小金井市さんのご尽力により、学芸大学の先生に依頼し、作成していただいたものとなっております。<br>今後は、最終形に向けて詰めの議論をおこなっていく予定となっております。<br>以上、減量グループからの報告でございます。 |
| 宮脇委員長 | ありがとうございました。<br>それでは、今の報告で、質問等があればお願いします。 |
| A 委員 | 三つ折りにする予定とのことですが、裏面のチェックシート部分については、表面の折目に合わせるようなレイアウトにした方がより見やすくなるかと思いました。 |
| B 委員 | チェックリスト部分ですが、現在は空欄になっていますが、ある程度の品目名を記載しておいた方が使いやすいかなと思います。<br>また、チェックリスト単独で貼り付けられるような仕立ても良いかと思いました。 |
| C 委員 | 先ほど B 委員がおっしゃられたご意見に加えまして、品目名ではなくイラストなどを載せておけば子どもも参加しやすく良いのではと思いました。 |
| E 委員 | ご意見いただきありがとうございます。我々の減量グループでも随分議論をして参りました。その中で、お二人からいただいた意見も当然出ました。その中で、「より多くの人に使ってもらうためにはどうすれば良いか」という視点から議論をする中で、本日お示しした案となっております。 |
| F 委員 | 減量グループでは、生ごみを減少させるために具体的に取り組もうということで議論を重ねる中で、まずは食品ロスに取り組むという結論に達しました。<br>その中で、冷蔵庫に着目し、チェックシートの作成に至りました。<br>このチェックシートを使用した人でたとえ一人でも良いので、食品ロスについて意識を高めてもらえればという思いでおります。 |
| G 委員 | 私みたいな物ぐさの人間は、よりシンプルなものでないと長続きしないもので、買い物から帰ってすぐに書き込める方が良いとの考えから本日お示ししたシート案となっております。<br>また、減量グループで検討した内容を、いかに情報発信・環境学習グループにおいて発信できるかを今後議論していってもらいたいと思いました。 |
| D 委員 | このチェックシートは、各家庭で気を付ける食品を書き込めばよろしいのでしょうか？ |
| E 委員 | そのように考えております。 |
| D 委員 | 私の自宅でもチェックシートを活用していますが、多くの品目を書き込み管理するのはとても大変なので、気を付けようと思う物だけ書き込めるこのチェックシート案はとても良いなと思いました。 |

| | |
|---|---|
| G 委員 | 議論をしている中でネックになっているのが予算であります。<br>3 市において何とか手立てしていただけるとありがたいです。 |
| 小澤行政委員(日) | まず、令和 7 年度予算においては、補正予算も難しい状況でございます。<br>また、令和 8 年度予算についても、各市とも要求済の状態でありますので、これも難しい状況です。<br>両グループで作成したデータは当然ホームページ等で活用して参ります。<br>ただし、ホームページ等をご利用できない方々に対しては、やはり紙媒体のものが必要かと思います。<br>これについては、「浅川清流環境組合だより」や 3 市それぞれが「ごみの特集号」を発行しておりますので、このような既存の媒体を活用していくことも今後検討させていただきたいと思っております。 |
| 宮脇委員長 | それでは、最後に本日の内容を振り返り、ご質問やご意見等はございますか？<br>特段ないようであれば、本日の全ての次第について終了いたしましたので、この後の進行は事務局にお返しいたします。 |
| 事務局 | それでは、これをもちまして、令和7年度第1回 3 市ごみ減量推進市民会議を閉会いたします。<br>長時間に渡り、ご協力いただき誠にありがとうございました。 |